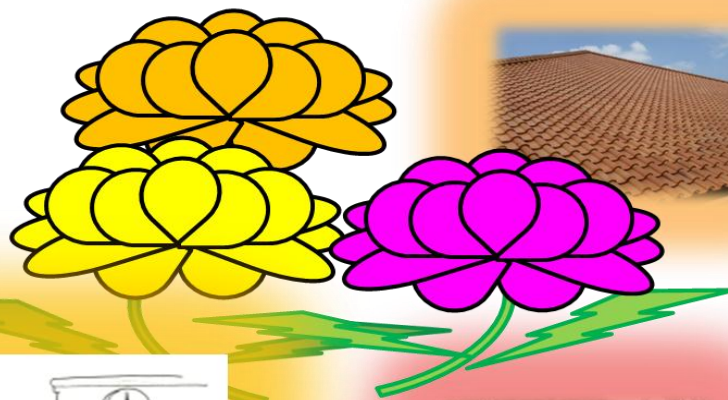


高浜小学校等整備事業 説明会



1

平成28年2月
高 浜 市

本日、お話しする内容

1. 学校プールの今後のあり方
2. 高浜小学校等整備事業のコンセプト
及びレイアウトイメージ
3. 質疑応答

1. 学校プールの 今後のあり方について

学校プールの現状

【ハード面】市内小学校プールの維持費（年間）

費 目	1校あたり（千円）	校数	合計（千円）
水道料金	1,000	5	5,000
下水道料金	500	5	2,500
薬剤費等	200	5	1,000
プール大腸菌検査手数料	21	5	105
プール総トリハロメタン検査手数料	147	1式	147
プール濾過機点検委託料	235	1式	235
合 計			8,987

※この他、修繕料や小規模工事費がプラスされます。

【ソフト面】学校の水泳授業

- 小学校の時間割は1限授業45分間

（参考）高浜小学校の水泳授業に要している時間数

1学年：10時間 2学年：10時間 3学年：10時間

4学年：10時間 5学年：11時間 6学年：10時間

※また、夏休み期間中はプール開放という形でプールを使用しています。

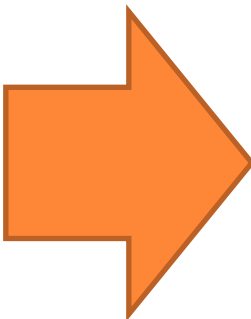
学校プールの課題

【ハード面】

- プールの維持費（1校あたり約180万円）に加え、今後老朽化等により修繕や大規模改修が発生する可能性がある。

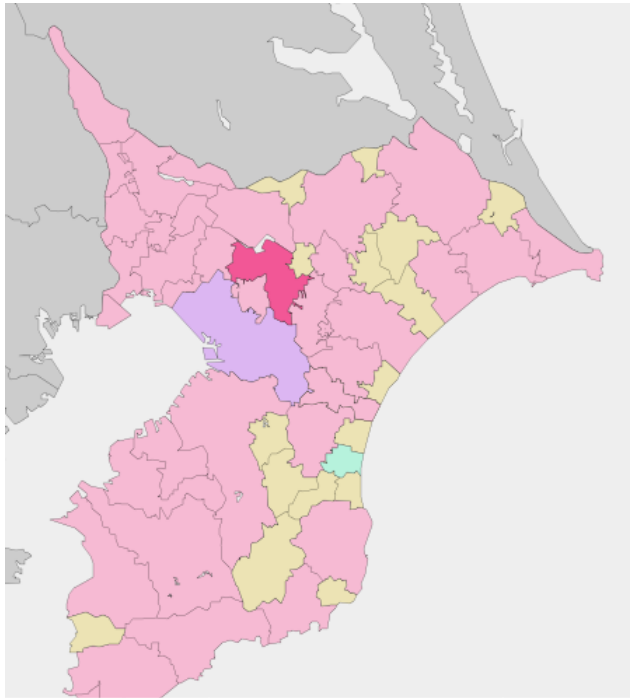
【ソフト面】

- 屋外プールはや天候に左右される。
- 夏の2～3ヶ月だけ利用して行う水泳授業は、水質・水温管理が難しく効率が悪くなっている。



**高浜小学校の建替えを機に、
学校にプールを設置するのではなく、
民間活力による民間プールを活用した、
新たな水泳授業のあり方を進めます。**

民間プール活用 事例紹介（千葉県佐倉市）



	佐倉市	高浜市
人口(2015年12月)	171,224人	45,567人
面積	103.69km ²	13.11km ²
人口密度	1,650人/km ²	3,480人/km ²
小中学校数	34	7

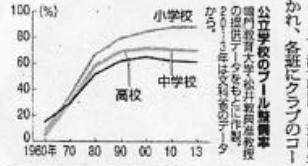
脱「1校1プール」の波

進む老朽化、改修より安上がり

「1校1プール」が崩壊した公立学校のプールを再置し、水泳授業をスイミングクラブに委託したり、教員で臨時プールを設けたりする自治体相次いでいる。老朽化が進むプールを改修するが安上がりでない。一方で、見直しに対する国の理解がなく、自治体任せの状況は、事故時のトラブル対応も教員の責任を心配する声も出ている。

民間に授業委託

「安全強化へ、少しでも泳げるようになりまして、千葉県佐倉市の市立函法律小中学校は今年から市内のウスイスイミングクラブに授業を委託している。この日の授業は6年生約150人、秋刀魚17班に分かれ、各班にクラブのコーチが指導している。



「安全強化へ、少しでも泳げるようになりまして、千葉県佐倉市の市立函法律小中学校は今年から市内のウスイスイミングクラブに授業を委託している。この日の授業は6年生約150人、秋刀魚17班に分かれ、各班にクラブのコーチが指導している。

「安全強化へ、少しでも泳げるようになりまして、千葉県佐倉市の市立函法律小中学校は今年から市内のウスイスイミングクラブに授業を委託している。この日の授業は6年生約150人、秋刀魚17班に分かれ、各班にクラブのコーチが指導している。

「安全強化へ、少しでも泳げるようになりまして、千葉県佐倉市の市立函法律小中学校は今年から市内のウスイスイミングクラブに授業を委託している。この日の授業は6年生約150人、秋刀魚17班に分かれ、各班にクラブのコーチが指導している。

「安全強化へ、少しでも泳げるようになりまして、千葉県佐倉市の市立函法律小中学校は今年から市内のウスイスイミングクラブに授業を委託している。この日の授業は6年生約150人、秋刀魚17班に分かれ、各班にクラブのコーチが指導している。

「安全強化へ、少しでも泳げるようになりまして、千葉県佐倉市の市立函法律小中学校は今年から市内のウスイスイミングクラブに授業を委託している。この日の授業は6年生約150人、秋刀魚17班に分かれ、各班にクラブのコーチが指導している。

「安全強化へ、少しでも泳げるようになりまして、千葉県佐倉市の市立函法律小中学校は今年から市内のウスイスイミングクラブに授業を委託している。この日の授業は6年生約150人、秋刀魚17班に分かれ、各班にクラブのコーチが指導している。

「安全強化へ、少しでも泳げるようになりまして、千葉県佐倉市の市立函法律小中学校は今年から市内のウスイスイミングクラブに授業を委託している。この日の授業は6年生約150人、秋刀魚17班に分かれ、各班にクラブのコーチが指導している。

「安全強化へ、少しでも泳げるようになりまして、千葉県佐倉市の市立函法律小中学校は今年から市内のウスイスイミングクラブに授業を委託している。この日の授業は6年生約150人、秋刀魚17班に分かれ、各班にクラブのコーチが指導している。

「安全強化へ、少しでも泳げるようになりまして、千葉県佐倉市の市立函法律小中学校は今年から市内のウスイスイミングクラブに授業を委託している。この日の授業は6年生約150人、秋刀魚17班に分かれ、各班にクラブのコーチが指導している。

「安全強化へ、少しでも泳げるようになりまして、千葉県佐倉市の市立函法律小中学校は今年から市内のウスイスイミングクラブに授業を委託している。この日の授業は6年生約150人、秋刀魚17班に分かれ、各班にクラブのコーチが指導している。



水泳の授業を民間委託した千葉県佐倉市立函法律小=佐倉市のウスイスイミングクラブ

複数校で共同利用

「安全強化へ、少しでも泳げるようになりまして、千葉県佐倉市の市立函法律小中学校は今年から市内のウスイスイミングクラブに授業を委託している。この日の授業は6年生約150人、秋刀魚17班に分かれ、各班にクラブのコーチが指導している。

「安全強化へ、少しでも泳げるようになりまして、千葉県佐倉市の市立函法律小中学校は今年から市内のウスイスイミングクラブに授業を委託している。この日の授業は6年生約150人、秋刀魚17班に分かれ、各班にクラブのコーチが指導している。

「安全強化へ、少しでも泳げるようになりまして、千葉県佐倉市の市立函法律小中学校は今年から市内のウスイスイミングクラブに授業を委託している。この日の授業は6年生約150人、秋刀魚17班に分かれ、各班にクラブのコーチが指導している。

「安全強化へ、少しでも泳げるようになりまして、千葉県佐倉市の市立函法律小中学校は今年から市内のウスイスイミングクラブに授業を委託している。この日の授業は6年生約150人、秋刀魚17班に分かれ、各班にクラブのコーチが指導している。

移動に時間取りやめた例も

「安全強化へ、少しでも泳げるようになりまして、千葉県佐倉市の市立函法律小中学校は今年から市内のウスイスイミングクラブに授業を委託している。この日の授業は6年生約150人、秋刀魚17班に分かれ、各班にクラブのコーチが指導している。

「安全強化へ、少しでも泳げるようになりまして、千葉県佐倉市の市立函法律小中学校は今年から市内のウスイスイミングクラブに授業を委託している。この日の授業は6年生約150人、秋刀魚17班に分かれ、各班にクラブのコーチが指導している。

「安全強化へ、少しでも泳げるようになりまして、千葉県佐倉市の市立函法律小中学校は今年から市内のウスイスイミングクラブに授業を委託している。この日の授業は6年生約150人、秋刀魚17班に分かれ、各班にクラブのコーチが指導している。

「安全強化へ、少しでも泳げるようになりまして、千葉県佐倉市の市立函法律小中学校は今年から市内のウスイスイミングクラブに授業を委託している。この日の授業は6年生約150人、秋刀魚17班に分かれ、各班にクラブのコーチが指導している。

課題は事故対応

水泳教育を専門にする専門教育大学の松井教員准教授の話。水泳教育は1980年代から本格化した。ただ泳力をつけるかという議論が十分なままプール建設が進んだ。民間委託や拠点制も財政面の観点で考えられている。泳力がつければ場所の問題でもないが、民間業者が学校水泳を代行できるには限らない。教員免許のない民間人だけに任せる場合は法的な課題もある。委託を進めれば学習指導要領に沿った指導が保障されるよう国が基準を決めればよい。国がきちんと対応しないまま進む現状は事故対応面からも問題だ。

民間プール活用のメリット

【メリット】

- ① 専門指導者による効果的指導
- ② 専門指導者＋教職員による監視も確保 [高い安全管理]
- ③ 水温が一定、児童の体調維持
- ④ 水質（塩素濃度）が一定 [高い衛生管理]
- ⑤ 天候に左右されない、安定したカリキュラム
（天候・温度）
- ⑥ 騒音の心配がない。
- ⑦ プライバシーの保護・外部からの目
- ⑧ 学校職員によるプール維持管理、安全管理不要

民間プール活用のデメリット

【デメリット】

- ①児童の移動を要する。
- ②夏休みの利用に制限がかかる。
- ③消防、災害時水利の問題
- ④事故が起こった場合の責任問題

【デメリットへの対応策】（民間事業者へのヒアリング結果による）

- ①児童生徒の移動
→バス利用による移動
- ②夏休みの利用に制限がかかる。
→日程が分かれば対応可能
- ③消防、災害時水利の問題
→他の水利で対応可能（高浜消防署確認済）
- ④事故が起こった場合の責任問題
→基本的に市と加害者の責任

プールに関する今後の予定

- 高浜小学校をモデルとして実施。
- 現在のプールは平成30年度まで使用し、平成31年度から民間委託を実施することを予定。
- 委託先は、市内に施設を有し、児童を送迎することが可能なバスを有しているところを想定。



pxta.jp - 1643723

2. 高浜小学校等整備事業の コンセプト及びレイアウト イメージについて

高浜小学校の現況

【施設概要】

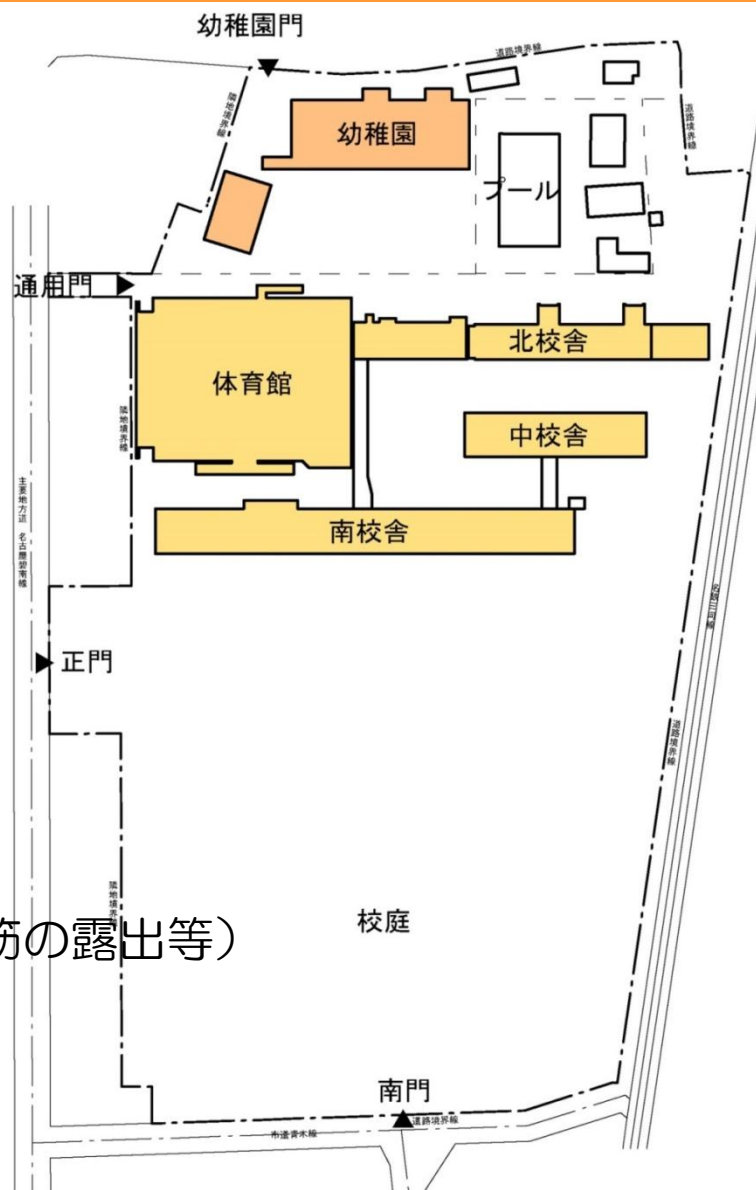
- 昭和34年に南校舎（築57年）
- 昭和42年に北校舎（築49年）
- 昭和45年に体育館（築46年）
- 昭和60年に中校舎（築31年）

【学校規模】

- 児童数：610人
 - 学級数：21
（普通学級18・特別支援学級3）
- ※平成27年5月1日時点

【施設の現況】

- 老朽化の進行（躯体・外壁の欠落、鉄筋の露出等）
 - 体育館の天井は耐震化を未実施
 - 古い形式の北校舎廊下（外廊下）
- ⇒施設全体の抜本的な対応が必要



これまでの経緯

- 公共施設の現状をとりまとめた「高浜市公共施設マネジメント白書」を策定（H23）
- 教育環境整備検討委員会（H25）
 - ⇒学校職員で組織され、高浜小学校等整備について議論を開始。
- 「公共施設あり方計画（案）」の策定（H26.6月）
 - ⇒高浜市の公共施設の原則：新たな公共施設はつukらない
 - ⇒高浜小学校の建替え：学校を核とした公共施設再編のモデル事業として位置づけ
- 学校施設検討部会（H26）
 - ⇒学校施設に関わる基本性能や機能の複合化・集約化を検討
- 学校施設検討部会ワークショップ（H26.10～H27.3 5回開催）
（高小PTA・教職員、複合化対象施設の利用者等が参加）
 - ⇒高浜小学校の建替えや複合化のあり方に関する協議を実施

高浜小学校等整備の基本理念

「学びの拠点」づくり

地域の活動を行う場、
地域の住民が子どもたちと
交流する場

(高浜市教育基本構想)

子どもの機能を集約

セキュリティを確保しながら、
子どもに関する機能を集約

(学校施設検討部会ワークショップ)

「地域の拠点」づくり

学校施設を核とした
公共施設の再編、
地域コミュニティの活性化

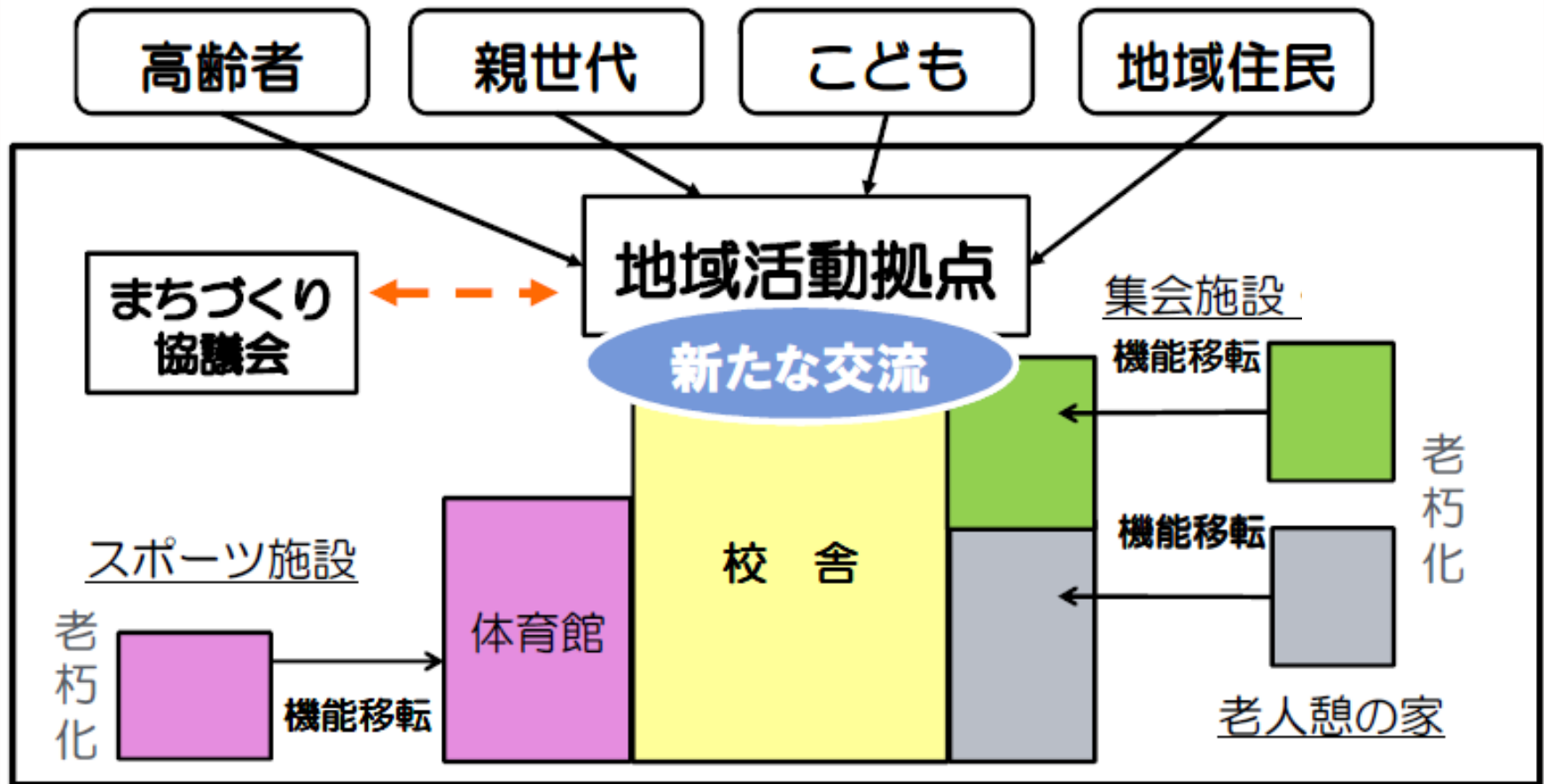
(高浜市公共施設のあり方計画(案))

【基本理念】

- 多様な利活用が可能な学校施設
- 地域のまちづくりの拠点
- 地域の交流拠点
- 地域の避難所機能
- 行政と民間・地域による運営

建替え＋複合化により、
これらの実現を目指す！

高浜小学校等整備事業のあい方イメージ



地域コミュニティの拠点となる複合施設として、
学校を整備し、将来にわたり持続させる。

施設複合化の狙い

【複合化の狙い】

- ①共用部の共通化、機能の共有等により、
公共施設の総量を圧縮する
- ②スケールメリットを活かしたり、
人員配置を効率化する等により、
公共施設の整備・運営を効率化する
- ③空間の多目的化、多目的利用により、
施設稼働率を向上させる

昨年度のワークショップでの方向性

複合化対象の公共施設について、複合化のメリットの有無を検討、市民とのワークショップなどを踏まえ、**4つのポイント**を設定

方向性① こどもに関する施設の集約

方向性② 市立図書館・体育センターの機能移転

方向性③ 集会施設の機能移転

方向性④ 駐車場の確保

ワークショップでの方向性の検討結果

方向性 ① こどもに関する施設の集約

小学校・幼稚園の効果的な建替え（施設稼働率の向上）
児童センター等のこどもに関する施設の複合化

高浜小学校

- 新校舎・体育館等を、本敷地に整備
- プールは整備しない
（民間プールを使用した授業へ転換）
- 地域開放の想定：
音楽室、図工室、家庭科室、
体育館（スポーツ利用／ホール利用）

高浜幼稚園

- 新たな施設を整備

中央児童センター 中央児童クラブ

- 2つの施設を併設し、相互連携を図る

いちごプラザ

- 本敷地には移転しない
- 機能移転時期を含め、新たな複合化先を検討。

ワークショップでの方向性の検討結果

方向性 ② 市立図書館・体育センターの機能移転

堤外地に立地し、耐震性能不足である体育センターのスポーツ機能や図書館の複合化

市立図書館

- 本敷地には移転しない
- 機能移転時期を含め、新たな複合化先を検討。

体育センター

- 本敷地に移転
- 高小体育館（メインアリーナ）と併設し、サブアリーナを設置し相互連携を図る

ワークショップでの方向性の検討結果

方向性③ 集会機能の機能移転

利用者の利用形態を考慮しつつ、老人憩の家での集会機能の複合化
特別教室等の共有による、工房機能の複合化

中央公民館

- 高小体育館（メインアリーナ）を、ホールとしての利用も想定して整備
- 楽屋兼控室、調光室、調整室、給湯室 等

大山公民館

老人憩の家

- 「集会室」等を整備
- 集会室：5部屋（一体利用も可）
- 和室、給湯室 等

IT工房くりっく

ものづくり工房

あかおにどん

- 「工房室」を整備
- 大人数での利用時は、公民館集会室や小学校図工室の利用を想定

ワークショップでの方向性の検討結果

方向性④ 駐車場の確保

施設の複合化を考慮し、施設間での共有化を想定した駐車台数の設定
出入口の位置の適正化

全体で200台を整備 ※多人数のイベント開催時は、校庭を利用することを検討

複合施設のメリット

メリット(期待される効果)

■多世代交流の機会創出

複合施設の利用者と、児童たちが、顔を合わせる機会が増える。
同じ地域で生活する様々な世代の顔が見える。様子が伝わってくる。

■地域コミュニティの活性化

教育、子育て、文化、生涯学習、スポーツなど、様々な目的の活動の場となる。
高浜に住む人々のコミュニティ形成の拠点となる。

■地域の生活利便性の向上

施設の多機能化により、1つの場所で様々なことができるようになり、利便性が向上する。
施設同士の連携により、相互利用や共同事業の実施等が期待できる。

■教育環境の充実

学校と地域との距離感が縮まることにより、児童の自立心、向上心、思いやりの気持ちを自然と育むような教育環境になることが期待できる。
複合施設の機能(ハード面、運営面)を利用し、教育活動の充実、高度化が期待できる。

複合施設のデメリット①

デメリット(配慮点、留意事項)と対策案

■セキュリティや動線への配慮

学校の敷地内、建物内を、様々な人が訪れるようになることから、セキュリティ(防犯面)や動線(交通安全等)への配慮が必要。

(対応策の例)

- ⇒学校昇降口と、地域利用の玄関とを、明確に区分する
- ⇒学校時間内は、学校側への出入りを不可とする(閉鎖する)
- ⇒地域開放施設は、一か所にまとめて配置 (地域開放エリアを限定)

■施設環境への配慮

異なる目的の施設が集まってくることから、利用方法(音、揺れ等)、利用時間帯(往来・利用ニーズのピーク、イベント・行事)、求める環境(最低限の広さ、動線・配置、日照条件等)などに配慮が必要。駐車場の確保も重要。

(対応策の例)

- ⇒利用方法や求める環境を想定した「要求水準」の作成
- ⇒優先利用や相互調整に関するルールを事前につくっておく

複合施設のデメリット②

デメリット(配慮点、留意事項)と対策案

■施設の管理方法への配慮

設置主体(所管グループ)が複数に渡ることから、利用者からの相談対応や施設の管理運営があいまいとならないよう、配慮が必要
(対応策の例)

⇒財産区分・管理区分をあらかじめ明確化しておく(施設、時間帯)

⇒定期的に、施設同士の連絡調整を行う(連絡調整会議の設置等)

■工事中の安全確保

学校だけの整備と比べ、工事期間が長くなる。工事工程が複雑化することから、工事期間中の安全性等への注意が不可欠。

(対応策の例)

⇒施設管理者、施設利用者を含め、工事計画を協議・共有する

⇒利用者ゾーンと工事ゾーンとの分離、
工事車両からの安全確保を徹底する

【参考】保育所等との複合化

多様な子供向け施設

- ・ 1階に私立の保育所（0～2歳）と区立幼稚園（3～5歳）が整備されている。
保育所は、待機児童対策のために、平成24年に施設を増設改修して整備されたもの。
- ・ 5階には児童館が整備されており、学童保育は最大午後7時まで延長保育を行っている。そのため、都心の商業区域に立地するこの施設に、保護者は安心して児童を預けることができる。



1階に入っている幼稚園

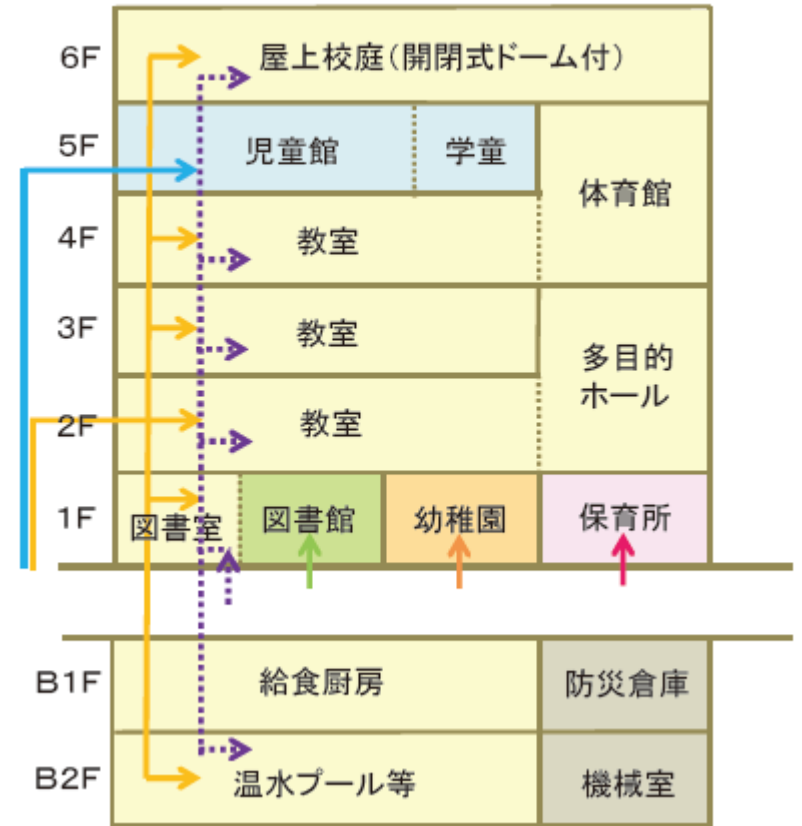


5階部分全体を使った広い児童館

- 学校規模 / 9学級 245名
- 複合施設(床面積) / 小学校 (9,057㎡)
幼稚園 (851㎡)
児童館 (1,388㎡)
保育所 (243㎡)
図書館 (188㎡)

- 整備時期 / 平成8年
- 構造 / RC造 地上6階 地下2階

<立面図>



凡例

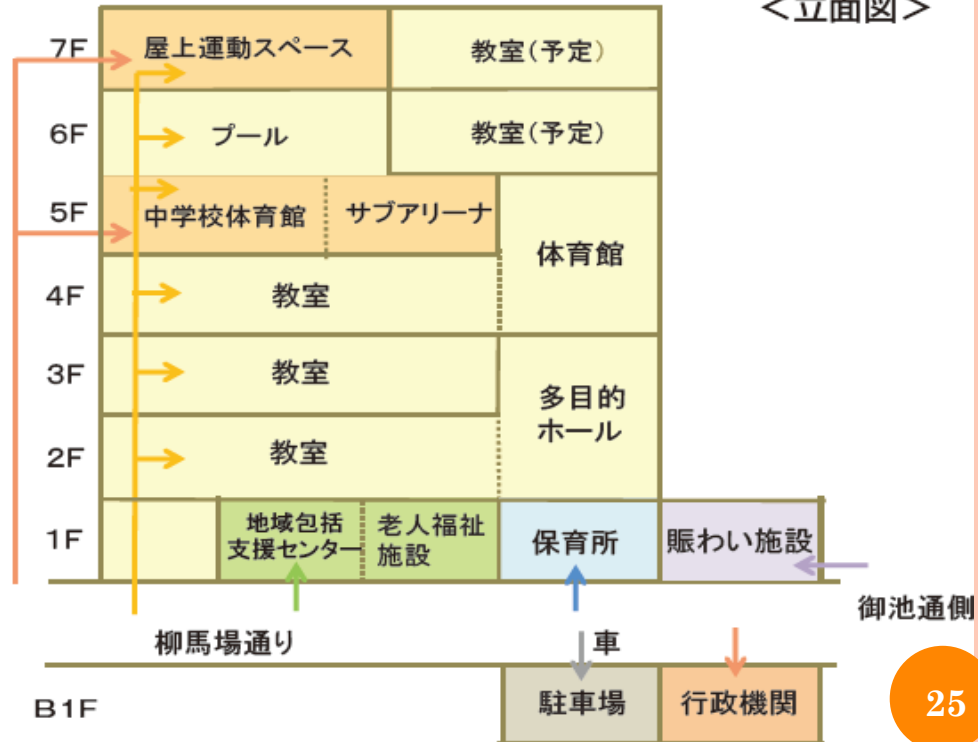
- 黄色 → 小学校
- 青 → 児童館・学童
- ピンク → 保育所
- オレンジ → 幼稚園
- 点線 → 学校開放
- 緑 → 図書館

東京都千代田区 立昌平小学校(幼稚園、保育所、児童館、図書館)

学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議(文部科学省)資料より

【参考】民間施設等との複合化

<立面図>



京都府京都市立京都御池中学校

(保育所、老人デイサービスセンター、在宅介護支援センター、行政機関、賑わい施設(民間))

学校施設の在り方に関する調査研究協力者会(文部科学省)資料より

【施設開放の対象の例】

- メディアセンター（図書室等）
- 特別教室（音楽教室、図工教室、家庭科室、会議室等）
- ランチルーム
- 体育館・クラブハウス
- プール



埼玉県吉川市 美南小学校

学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議(文部科学省)資料より

平面計画上の特徴

